

卯月には花々あれどたぐいなき  
源平枝筆れ桃いま咲き誇る

○源平しだれ桃 <sup>Prunus</sup> <sup>persica</sup> <sup>cv.</sup> Genpeishidare  
江戸時代以来、多数ある園芸品種の一つ

○ツバキ (ヤブツバキ) ツバキ科 <sup>Camellia</sup> <sup>japonica</sup> 語源 ツバキ、厚葉木  
原産 日本、韓国 特性 大きな果実が裂開する 用途 椿油、木材、観賞用改良種多  
興味ある故事について。——中国にツバキはないが、「椿」(チ)の字とそれにまつた古い思  
想があります。方位守護獣である四神として有名な架空動物である青龍、朱雀、白  
虎、玄武のように椿は超長寿を誇る架空の植物なのです。中国の古書に椿樹  
は「七千年を春となし、七千年をもつ秋となす」とあり、その思想は各方位や四神につ  
なかりています。そこで「椿」に因りて述べれば、即ち東は日の出る所で、物事の始  
まるめでたい季節の春を表し、又春の色は市親道前の神秘的な空の青とされ、従って  
守護獣は青龍となる。以上が「春の木」と書く椿がめでたく長寿とされるわけで、  
「青春」の語源でもあり又皇太子を東宮と呼ぶ所以である。かつて中国の除福が「希求  
(て来日した、不老長寿の木は天白鳥葉ではなくて椿ではなかったかと私は考へている。  
中国から見ればまさに椿は極東、日出る国に特産する垂涎の植物なのである。

○菖蒲 <sup>Acorus</sup> <sup>calamus</sup> <sup>var.</sup> <sup>asiaticus</sup> Pers.  
五月菖蒲は菖蒲、この誤解を知る。又葉の特殊構造を知る。

○キササゲ <sup>Catalpa</sup> <sup>ovata</sup> G. Don. 薬用

○アシ <sup>Phragmites</sup> <sup>communis</sup> Trin. よしはまき。

○クハモジ <sup>Lindera</sup> <sup>umbellata</sup>

○ムクロジ <sup>Sapindus</sup> <sup>mukurossi</sup> Gaertn 雌雄花あり、果皮のサトウ石けん用、種子は羽子板羽根の玉

○エドヒガン <sup>Prunus</sup> <sup>pendula</sup> form <sup>ascendens</sup>  
イトザクラ エドヒガンザクラの変種

○シヤガ <sup>Iris</sup> <sup>japonica</sup> Thunb.

○イヌフクリ <sup>Veronica</sup> <sup>canadensis</sup> Makino  
・オオイヌフクリ 花梗長い  
・クハイヌフクリ 穂状小花

以上 小吹和男